

香川生物 (Kagawa Seibutsu) (35) : 9 - 10, 2008

人工浮遊物に営巢したアオサギ

川 口 敏

〒769-2102 香川県さぬき市鴨庄994-6

A record of the Grey Heron *Ardea cinerea* nesting on the raft in Kagawa Prefecture.

Satoshi Kawaguchi, 994-6, Kamoshō, Sanuki, Kagawa, 769-2102, Japan

アオサギ *Ardea cinerea* は一般に高木の樹上に営巢し、ときに崖の岩棚、アシ原、ヒースの生えた地面、例外的に建物、橋、丸石からなる浜や裸地の開けたところにも営巢することが知られている (Cramp et al., 1977)。ところが、2007年4月1日、香川県さぬき市内のため池で、筏の上にアオサギが営巢していることが新聞報道された (四国新聞, 2007)。巢を作り始めたのは2007年2月20日ごろで、3月

初旬に巢内に4個の卵が確認されたという (四国新聞, 2007)。著者の知るかぎり、アオサギが水面上に浮かぶ人工物に営巢した例はなく、極めて珍しい事例だと思われるが、新聞記事では詳細な営巢場所や周辺環境が記されておらず、その後の経過も報道されていない。また、新聞記事は学術的な記録ではないために情報が埋没する恐れもあるので、ここに改めて報告する。



図1. 筏の上に営巢するアオサギ (2007年4月2日撮影)

著者は、新聞報道を受けた2007年4月1日の翌日（4月2日）、香川県さぬき市長尾名亀鶴公園内のため池（約400m×500m）において、報道されたものと同じと思われるアオサギの巣を発見した（図1）。ため池の水面上には、花を植えたプランターを載せるための竹で作られた筏が30基あった。1つの筏の大きさは約2m×1mで、流されないようにすべてロープで岸に固定されていた。このうち、アオサギの巣を載せた筏は、岸から最も離れた位置（岸から約15m）にあった（図2）。

公園内には、このアオサギの巣以外にサギ類やカワウ *Phalacrocorax carbo* の巣は見られなかったため、単独巣と考えられる。ちなみに、西に約1.6km離れた和爾賀波神社社叢（香川県木田郡三木町井戸）に、約220巣からなるアオサギとダイサギ *Egretta alba* の混成コロニーがあり、これが最も近い距離にあるサギ類のコロニーと思われる。

公園内のため池の中央には島があり、陸橋で結ばれている。陸橋は桜並木になっており、桜が開花していたので、通行人が多かった。巣は、通行人の多い桜並木に近く、通行人の視線より低い位置にあって、通行人と巣

の間に視野を遮るような障害物はなかった（図2）。そのためか、巣内のアオサギは落ち着きがなく、巣を離れて飛び去り、しばらくして巣にもどるという行動が見られた。

2007年5月2日、繁殖の経過を観察するために現地を訪れたが、巣を載せた筏は撤去されていた。付近の住民によれば、ゴールデンウィークに入る前に（つまり4月29日より前に）筏は撤去されたという。5月2日の和爾賀波神社のコロニーでは、巣立ちしたアオサギの幼鳥は見られなかったため、亀鶴公園のアオサギが4月29日より前に巣立ちを迎えたとは考えにくく、繁殖は途中で失敗したと考えられる。

引用文献

- Cramp, S. (ed.). 1977. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa. The Birds of the Western Palearctic. Vol. 1 Ostrich to Ducks. Oxford University Press, Oxford.
- 四国新聞. 2007. アオサギ筏で巣作り. 2007年4月1日付け記事.

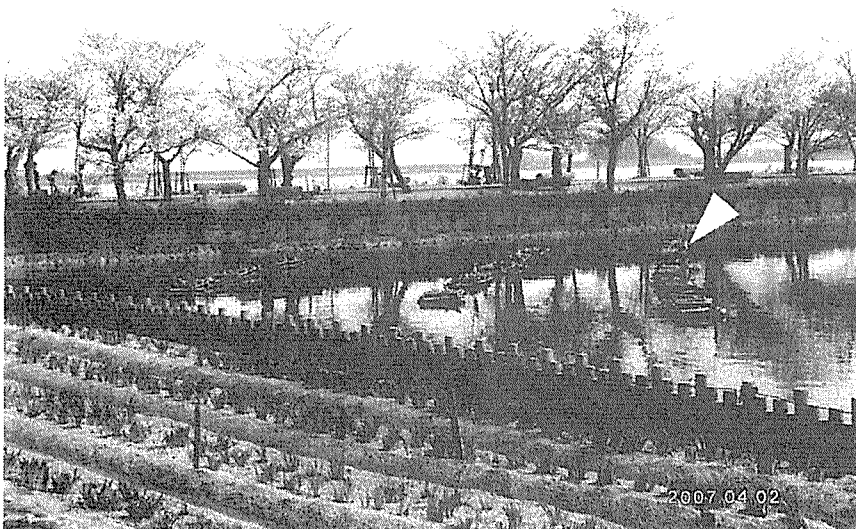


図2. さぬき市亀鶴公園の営巣環境。矢印は巣の位置。（2007年4月2日撮影）